ご自由に
お取り
ください

J's
ジェイズ

vol.23
2024 夏号

“ Juntendo+Izu = J's ”
皆さんと、順天堂大学医学部附属静岡病院をつなぐ、
アットホーム情報誌 「 J's（ジェイズ）」。

特別号

特集

H棟Ⅱ期棟 竣工
ますます便利に、もっと身近に。

市民公開講座のお知らせ

就任のご挨拶

副院長 山本 拓史

院長補佐 桐野 衛二

医療サービス支援センター長 清水 芳男

ドクターヘリで結ばれた命

連携登録医の紹介

医療法人社団研真会 上の山鎮目クリニック
あそうクリニック

私のオススメ

「だって、生まれたんだもん」
「あなたのための短歌集」

順天堂大学 医学部附属 静岡病院
JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL

H棟Ⅱ期棟 竣工
ますます便利に、もっと身近に。

2024年4月27日に
順天堂大学医学部附属静岡病院の
H棟Ⅱ期棟が竣工しました。

H棟 Ⅱ期棟 3つのポイント

H棟Ⅱ期棟は2021年に竣工したH棟に隣接しています

採血検査分析時間の短縮化
分析装置のフルオートメーション化により、血液検査結果が最短60分で可能。

各外来部門へのアクセス向上
新棟は病院のほぼ中央にあり、各外来部門への行き来が便利に。

災害に強い免震構造
災害発生時にも災害拠点病院として傷病者の受け入れができます。

フロアガイド

6F 整形外科
救急診療科
産婦人科病棟
p.06

4F 中央材料室
p.06

2F 中央検査室
採血室
採尿室
p.04

B1F 栄養科
p.03

7F
6F
病棟
5F
4F
3F
2F
外来
1F
B1F

7F 大会議室
p.07

5F 産婦人科病棟
p.06

3F 手術室
p.06

1F 整形外科外来
形成外科外来
MRI室
p.04

院長挨拶

順天堂大学医学部附属 静岡病院
院長 佐藤（さとう） 浩一（こういち）

順天堂大学卒(1981年)
特任教授、名誉教授

<認定医・専門医など>
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

2019年1月に新棟Ⅰ期棟の地鎮祭を執り行ってから、5年4ヶ月の歳月をかけてついに新棟Ⅱ期棟が完成いたしました。現在は既存棟の改修工事を施工中で、本年12月には全ての工事が終了する予定です。静岡病院は一昨年、633床への増床が認可され静岡県で4番目の規模の大病院となりましたが、新棟建設中による病床不足により現在628床の運用になっております。工事終了によりいよいよ病床633床でのフル稼動が可能となります。

新棟Ⅱ期棟の完成により手術室は3室増加となり、新棟の手術室は合計11室となりました。既存棟の手術室を加えると手術室は17室となり、多くの手術需要に応えることが出来るようになりました。新棟のロボット手術室ではすでに泌尿器科、呼吸器外科、外科がロボット手術を行っており、本年度になり心臓血管外科もロボット手術を開始しております。昨年は上位機種であるダビンチXiが導入され、ロボット手術は順調に増加しており、現在は婦人科がロボット手術開始に向け準備中です。

ハイブリッド手術室において施行されている経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は静岡県東部では当院が最初に施行いたしましたが、その後大きな合併症もなく順調に症例を重ね、本年5月時点で135例に達しております。静岡県東部、特に伊豆半島は高齢化が進み、潜在的に多くの大動脈弁狭窄症患者が存在すると思われます。手術療法と比較し侵襲の少ないTAVIにより、今後も多くの患者さんを治療していきたいと考えています。

新棟内のご案内 INFORMATION

FLOOR B1

食事・栄養の力で治療をサポート
栄養科

栄養科は入院患者さんの栄養状態や病気に合わせた食事を提供し、早期回復や合併症予防を図ることを目標にしています。衛生面にも配慮し、調理師と管理栄養士が献立を作成します。

J's vol.20で栄養科を特集！

夕食A定食の一例。季節に合わせたメニューも楽しみの一つ。

定期的に嗜好調査を実施。患者さんの満足度向上に努めます。

FLOOR 1

6つの診察室で対応
整形外科外来

骨・筋肉・関節・脊椎などの運動器を中心とした疾患が対象です。手術は関節鏡を用いたものから人工関節まで幅広く対応。救急医療からリハビリテーションまできめ細やかな医療を心がけます。ひざ関節の多血小板血漿（PRP）による治療外来も行っています。

患者さんのQOLに寄り添う
形成外科外来

形成外科は主に体の外表面（目に見える部分）の変形を手術で治します。生まれつきあるいはケガによる変形、できもの…外貌を手術で改善し、患者さんの精神的ハンディキャップを軽減させQOL（クオリティ・オブ・ライフ）向上を手助けすることが当科の目的です。

フットケア外来

動脈硬化や糖尿病などにより、悪化した足の潰瘍や壊疽に対して、重症化しないよう適切な治療と、再発予防のケアや内科的治療、また療養のアドバイスなどを行います。

診療日	毎週火曜日15時～（※予約のみ）	対象	糖尿病性潰瘍などの難治性潰瘍
受診方法	形成外科外来を受診時、ご相談ください。		

進化したMRI「3.0テスラ」2台体制に
MRI

検査精度が格段に向上！

従来の「1.5テスラ」に比べ信号雑音比（ノイズ除去比）が2倍に向上した「3.0テスラ」は、脳血管や乳癌など、特に小さな病変を見つけることに役立ちます。院内で「3.0テスラ」は2台体制となったため、より多くの撮影が対応可能となりました。

①正面玄関よりお入りいただき、左手に進む

②1Fコンビニ横の階段を右に曲がる

③道なりに進む

④突き当りを左に曲がると正面が受付です

FLOOR 2

最短60分で採血結果が判明
中央検査室・採血室・採尿室

生化学分析装置のフルオートメーション化により、採血検査の結果判明までの時間が短縮されました。当院は救命救急センター、新生児センター、静岡県東部ドクターヘリ基地病院でもあるため、昼夜を問わず多くの緊急検査に対応しています。

①正面玄関よりお入りいただき、B棟エレベーターで2階へ上がる

②エレベーター右側を道なりに進む

③突き当たりを左に曲がる

④受付があります

FLOOR 3 手術室

新棟Ⅱ期棟の竣工により3室増え、新棟の手術室は11室に、既存棟と合わせると17室になりました。

-プライバシーを尊重-
家族待合室

落ち着いた雰囲気でプライバシーが守られるなか、手術の進行状況をいち早く知ることが可能です。

病院を影で支える 中央材料室 FLOOR 4

中央材料室は、主に滅菌業務を担当。手術室や外来で使用した医療機器を洗浄・滅菌し、再生処理を行う重要な役目を担っています。安心・安全な病院運営にとって滅菌業務は必要不可欠な存在です。

FLOOR 5/6 入院病棟

プライバシーに配慮された産婦人科や整形外科などの入院病棟。一人部屋には手すりのある安心設計のトイレ・シャワー室もあり、経験豊富なスタッフに見守られながら、快適に過ごすことができます。

FLOOR 7 伊豆の景色を一望 大会議室

市民公開講座の様子

天井モニターを6箇所に設置。

ダイナミックな伊豆の自然や街並みを眺めることができます。

大会議室は、一度に約240人の収容が可能。市民公開講座のほか、チームカンファレンスなどが開かれる重要な舞台となっています。窓から眺める景色は素晴らしく、箱根山を一望することができます。

J's EVENT 市民公開講座

市内外のどなたでも　参加無料　申込不要

第89回

- 日 時　2024年9月19日(木) 17:00～18:00(開場16:30)
- 演 題　胃がんのはなし あれこれ
- 講 師　外科 教授　伊藤 智彰
- 会場／順天堂大学医学部附属静岡病院 大会議室およびZOOMでのオンライン参加

第90回

- 日 時　2024年11月21日(木) 17:00～18:00(開場16:30)
- 演 題　ハッピーライフ with 糖尿病　～一病息災で健康長寿～
- 講 師　糖尿病・内分泌内科 教授　野見山 崇
- 会場／順天堂大学医学部附属静岡病院 大会議室およびZOOMでのオンライン参加

オンライン参加(ZOOMより視聴可能)　ご希望の方はWebサイトの「市民公開講座」ページよりご視聴ください。

専用ページ　https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/pr/public/

就任のご挨拶

地域に寄り添う

安心・安全な医療の提供に

努めてまいります

副院長

山本 拓史（やまもと たくじ）

順天堂大学卒（1991年）

【認定医・専門医など】
- ○ 日本脳神経外科学会専門医・指導医
- ○ 日本脳卒中学会専門医・指導医
- ○ 日本脳卒中の外科学会技術認定医・認定指導医
- ○ 日本神経外傷学会認定医
- ○ 日本神経内視鏡学会技術認定医
- ○ 日本航空医療学会認定医・指導医
- ○ 日本離床学会認定指導医
- ○ 日本口腔ケア学会学術評議員

【専門分野】
- ○ 脳血管障害に対する外科的治療
- ○ 神経内視鏡による低侵襲手術
- ○ 頭部外傷の診断と治療

本年4月より副院長を拝命いたしました。診療部長職と合わせ、その重責に身の引き締まる想いであります。私自身は、1999年に静岡病院（旧：伊豆長岡病院）に赴任、脳神経外科診療を担当しつつ、一職員として約25年にわたり病院の発展を見つめてまいりました。赴任当初は病床数479床でありましたが、今では633床となり静岡県下4番目の病床数を誇る病院となっております。

4月には新棟（H棟）Ⅱ期工事も完了し、救急診療、新生児・周産期医療、手術室機能の充実が図られております。一方で、静岡県東部、伊豆半島では急速な人口の高齢化が社会問題となっており、高齢者に対する医療提供や介護医療を含めた医療連携が不可欠であり、病診・病病連携のなかで地域包括ケアを担う一員として皆様が受診しやすい病院運営を目指しております。また、大学病院の使命を果たすべく、多くの臨床研修医に加え静岡県地域枠研修医の受け入れも始まっており、後期研修、卒後教育の充実により、地域に優秀な医師を輩出すべく心がけております。

引き続き佐藤浩一病院長の指揮、指導の下、職員一丸となり地域に寄り添う安心、安全な医療の提供に努めてまいります。改めまして、皆様からのご指導、ご支援のほどよろしく願い申し上げます。

使命に向かい

私の経験と視点が

お役に立てれば

院長補佐

桐野 衛二（きりの えいじ）

北海道大学卒（1989年）

【認定医・専門医など】
- ○ 精神保健指定医
- ○ 日本精神神経学会精神科専門医
- ○ 日本精神神経学会専門医制度指導医
- ○ 日本精神病院協会臨床研修指導医
- ○ 日本医師会認定産業医
- ○ 日本臨床神経生理学会専門医
- ○ 日本緩和医療学会認定緩和ケア指導者
- ○ がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

【専門分野】
- ○ うつ病・パニック障害・統合失調症ほか精神疾患全般
- ○ 児童思春期のこころの問題
- ○ 成人の発達障害
- ○ 認知症の診断と治療

本年4月より院長補佐を拝命賜りました。ご推薦頂いた小川秀興理事長先生並びに佐藤浩一院長先生に深謝申し上げます。私はこれまで当院のメンタルクリニック科長およびこどものこころのケアセンター長として、地域のみなさまのメンタルヘルス向上に微力ながら尽力して参りました。また院内では、健康安全推進センター長・産業医として職員の健康管理を担って参りました。

地域の中核病院であり静岡県東部最大の救命救急センターやドクターヘリを有する当院において、院長補佐という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。当院は本年5月には新棟が竣工し、ますます地域医療に貢献するとともに、大学病院としても診療・教育・研究に世界水準の発信をすることが求められています。その使命に、私の精神科医としての経験と視点がわずかばかりでもお役に立てればと考えています。

慣れない大役ゆえに至らぬ点も多々あるかと存じますが、温かい目で見守って頂ければ幸いです。

当院を受診されるすべての方々の生活の質を高める一助に

医療サービス支援センター長

清水 芳男（しみず よしお）

山形大学卒（1992年）

【認定医・専門医など】
- ○ 日本内科学会認定内科医
- ○ 日本内科学会総合内科専門医
- ○ 日本腎臓学会専門医・指導医
- ○ 日本透析医学会専門医・指導医
- ○ がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

【専門分野】
- ○ 慢性腎炎
- ○ ネフローゼ症候群
- ○ 慢性腎臓病（CKD）
- ○ 高血圧
- ○ 透析療法

本年4月より医療サービス支援センター長を拝命しました清水芳男と申します。これまでは腎臓内科の科長として検尿異常から末期腎不全に至るまでのあらゆる腎疾患に対して診療・研究を行ってまいりました。

医療サービス支援センター長としての私の使命は当院を受診されるすべての方々の生活の質を高めるための重要な一助を提供することと深く認識しております。そのために、以下の心がまえをもって職責を全うしたいと思います。第一に患者さんのニーズと期待を理解し、対応するサービスを提供することを心がけます。第二に病院全体および地域の皆様と良好にコミュニケーションをはかるとともに協力体制を構築します。第三に現状に甘んじず、常にサービスの質を向上させるための新たな方策を探し、評価し、実行します。さらに、当院の位置する静岡東部・伊豆は地形、交通インフラの整備状況、人口の特徴的な年齢分布、医療体制などの点から独特な地域であり、これらの特徴に配慮したきめの細かい対応をしていきたいと考えます。

まだまだ、力不足でございますが、皆様のお力をお借りし少しでも良質な医療の実践をはかりたく、よろしくご指導・ご鞭撻のほど、お願いいたします。以上を持ちまして就任のご挨拶に代えさせていただきます。

第2回 ドクターヘリで結ばれた命
～受傷から退院までを振り返って～

1 事故発生 → 119番通報 → 2 救急車 → ランデブーポイントへ → 3 ドクターヘリ → 病院へ → 4 集中治療室 → 入院 → 5 入院・リハビリ

事故発生	救急車	ドクターヘリ	集中治療室	入院・リハビリ
対応 インストラクター	対応 救急隊員	対応 フライトスタッフ	対応 医師・看護師	対応 理学療法士

会の目的

事故によりドクターヘリで病院へ運ばれた患者さんの、受傷から退院までに関わった方々に集まっていただき、当時の状況を共有する会が、先日開催されました。この会は、患者さんを始め、救助から治療を経て退院までに関わった人々が、患者さんの命がどのようにつながっていったのか、それぞれの状況を振り返ることで、救命の連鎖の重要性やドクターヘリにおける救命活動の周知、また、同じような経験をした患者さんが、未来に向かって希望を持つことを目的としたものです。会には、患者さんのほか、ダイビングインストラクター、救急隊員、医師、看護師、理学療法士など、15名の方が参加し、それぞれ、事故現場やドクターヘリ、病院での状況や思いを語りました。

経緯とその後

患者のAさんは、2023年8月に東伊豆でダイビング中に水流に巻き込まれ、意識を失いました。ダイビングインストラクターが人工呼吸と心臓マッサージを行い、港で救急車に乗り換え、救急隊員がAさんの救命処置を続けました。ドクターヘリではフライトスタッフが人工呼吸器や点滴などの処置を行い、病院搬送後は集中治療室に入り検査や診療を受けました。Aさんは、病院での治療やリハビリに励み、事故の翌日には人工呼吸を離脱し、6日後には退院することができました。

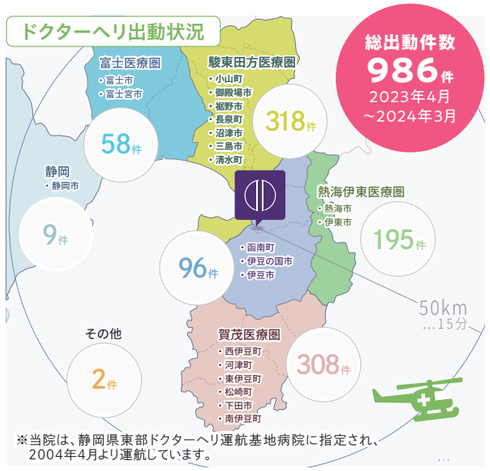
フライトドクター 大森医師より

Aさんを助けたいという思いで、皆さんが命をつないでくれたことに感謝しています。救命に携わった方々のお話を聞くとともに、元気になった患者さんにお会いできることが非常に嬉しく、これからのやりがいに繋がります。

患者さんコメント

退院後は仕事に復帰することができ、また日常生活でも受傷前と変わらずに過ごすことができているため、安心感を覚えるとともに、助けてくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、入院直後は自分自身で家族へ連絡することができなかったため、家族が面会に来てくれたときには涙が出るほど嬉しかったです。

ドクターヘリ出動状況



※当院は、静岡県東部ドクターヘリ運航基地病院に指定され、2004年4月より運航しています。

連携登録医の紹介

患者さんに良質な医療を提供できるよう、当院と連携体制を取っている地域の医療機関をご紹介します。

下田市　医療法人社団研真会 上の山鎮目（うえのやましずめ）クリニック

生活習慣病の治療を通して、脳・心血管疾患の予防を行うとともに発症後のリハビリにも力を入れています。パーキンソン病やアルツハイマー型認知症等の神経疾患の方が増えてきました。介護関連分野との連携を大切にし、訪問看護、訪問・通所リハビリ、認知症デイサービス、居宅介護支援事業所を併設しております。通院困難となった方には訪問診療も行い、下田メディカルセンターと連携し、看取りも行っています。関連の伊豆ライフサポートクリニックには腎臓内科専門医がおり、重症化予防に重点を置き診療しております。血液透析も行っています。

Webサイト

所在地：下田市柿崎432-1
院　長：鎮目 研吾
医　師：福田 滋
診療科：脳神経外科・神経内科・内科・リハビリテーション科
アクセス：伊豆急行「下田」駅よりタクシーで6分
電　話：0558-23-8820
ＵＲＬ：https://kenshinkai.group

診療(受付)時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00 (8:00～12:00)	○	○	○	○	○	—	—
14:00～17:00 (12:00～17:00)	○	○	○(※)	○	○	—	—

(※)水曜日 13:00～15:00 は訪問医療を行なっています

沼津市　あそうクリニック

2011年開業の糖尿病と内分泌疾患の専門クリニックです。日本糖尿病療養指導士（CDEJ）の看護師、管理栄養士が10名おり、診療のサポートを行っています。糖尿病と甲状腺疾患に関しては、院内検査でほぼ完結し、高い専門性を保っています。無床診療所としては、東海・北陸を含んだ中部地区で、唯一の日本糖尿病学会認定教育施設（III）です。

Webサイト

所在地：沼津市筒井町11-1
院　長：麻生 克己
診療科：糖尿病内科・内分泌内科
アクセス：富士急シティバス「沼津」駅北口から「筒井町」下車、徒歩3分
電　話：055-929-7575
ＵＲＬ：https://www.aso-clinic.jp

診療(受付)時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～11:30 (8:00～11:00)	○	○	○	○	○	○	—
14:00～17:00 (13:40～16:30)	○	○	○	○	○	—	—

私のオススメ

書籍　だって、生まれたんだもん

西田 江里 著／ぶどう社

看護学生の頃、4～5歳だった著者のお宅でボランティアをしていました。重度の障害があり、自分で話したり動いたりはできませんが、いつも笑顔で周囲を和ませてくれていました。そんな彼女が24時間365日の支援を受けながら一人暮らしをして、自分の思いを綴っています。彼女に励まされ、前向きになれる一冊です。

看護部 看護入院業務課／課長補佐　宮澤 初美

書籍　あなたのための短歌集

木下 龍也 著／ナナロク社

初めて読んだ歌集です。この本は短歌の隣に依頼者の想いが書かれているので、短歌に触れたことのない方でも、それを補助線にして想像することができます。普通に読む以外にも短歌からお題を想像したり、お題からみなさんが短歌を詠んでみたり、楽しみ方も色々あります。もしかしたらみなさんに重なる一首がみつかるかもしれません。

診療録管理室／診療情報管理士　野口 恵梨華

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129番地　TEL:055-948-3111
https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

最新情報はこちら
Webサイト　外来診察日割表

J's vol.23　2024夏号　発行月:2024年7月　編集:順天堂大学医学部附属静岡病院 広報委員会　編集協力:株式会社モスク・クリエイション